

かめやま 社協だより

2025.4
第81号

ももこさんとわたし

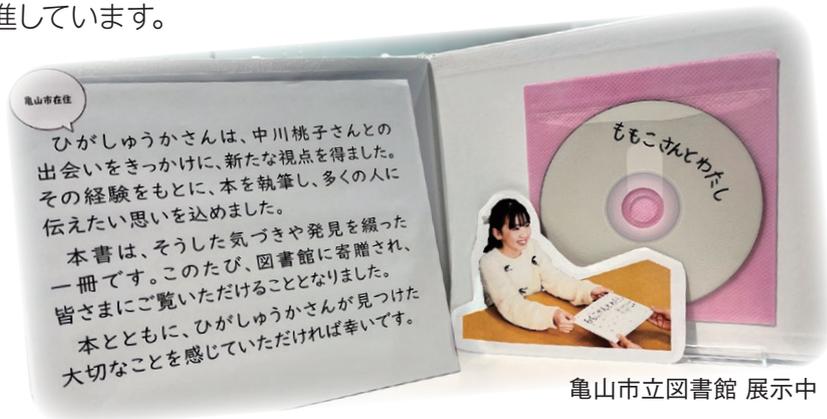
絵 ひがしゅうか
作 ひがしゅうか



特集

ももこさんとわたし ～きっかけは福祉教育から～

亀山市社会福祉協議会では、学校、地域、人のつながりの中で『ふくしのこころ』を育む福祉教育を推進しています。



亀山市立図書館 展示中

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
社協だよりは市民の皆様からいただいている会費で発行しています。

生活・福祉のお困りごと
ご相談ください ☎82-7985



ももこさんとわたし

～きっかけは福祉教育から～

01 出会い

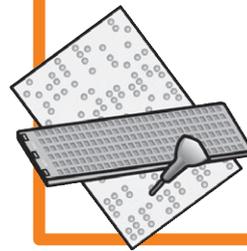
私は小学4年生の冬、総合的学習の時間に中川桃子さんと出会いました。桃子さんが病気で目が見えなくなったというお話を聞いて、目が見えない人に情報を届ける方法(点訳や音訳)を学んだり、その体験をしました。



02 交流

私はお母さんに、桃子さんに「お手紙を送りたい」と話をしたら、点字器を購入してくれて、お手紙のやりとりが始まりました。毎日ポストをのぞいて、届いているかなーと、ドキドキしていました。

小学5年生の夏頃に桃子さんと再会しました。図書館に一緒に行ったり、色々なお話をしました。



私
ひがしゅうか
比嘉珠椛です

お手紙のやり取りで、楽しみながら点字はメキメキ上達することができました。絵本に貼った点字シールの作成は、力が必要で大変でしたが、スポンジを挟むなど工夫して頑張りました。桃子さんに出会って、知らない世界を知ることができました。普段の生活の中で、こんなとき、桃子さんはどうするのかな？ここは危ないんじゃないかな、と考えることが増えました。

学校にお話に行ったあとに、このような形でつながり続けることができとても嬉しいです。しゅうちゃんが作った絵本は、障がいの有無・世代にかかわらず、多くの方に見ていただきたいと思っています。そして、市内でこのような出来事があったことを知っていただきたいし、ひとりの小学生の行動力やそれを応援してくれる親ごさん、周囲の力を感じてほしいです。



彼女の名前はももこさん。「ももこさん」という名前がぴったりなともキュートなお姉さん。

－「ももこさんとわたし」P2より引用－

亀山市社会福祉協議会では、学校、地域、人のつながりの中で、『ふくしのこころ』を育む福祉教育を推進しています。今回は、福祉教育として、学校で行われた授業をきっかけに、市内の小学生比嘉珠栴(ひがしゅうか)さんが、さらに学びを深め、つながり続けている取り組みをご紹介します！

03 絵本作成

私は小学2年生から、毎年夏休みに絵本を作っています。今年は「桃子さんとの出会いを絵本にしたい」と思い作成しました。

視覚に障がいのある方にも読んでいただけるよう、点字シールを貼ったり、桃子さんをイメージしたイラストを取り入れました。桃子さんにプレゼントしたら、とても喜んでくれました。



04 つながり

私は桃子さんや障がいのある人にも絵本を届けたいと思い、ボランティアグループの朗読奉仕会の方と出会い、絵本の音訳をすることにチャレンジしました。

そして、完成した音訳CDを絵本と一緒に亀山市立図書館に寄贈しました。

たくさんの方が手に取ってくれるといいな。



桃子さんは市内の学校などでお話をされています

27歳の時に白血病を発症されたことが原因で、視力を失われた中川桃子さん。

一時期は落ち込まれましたが、視覚障がいになったことで「私だからこそ、何か伝えられる事があるのではないか」と思われ、市内の学校を中心に子ども達や地域の方々にお話をされています。



たくさん子どもたちが桃子さんと出会い、思いやりの心が膨らんでいます。



最後に桃子さんからのメッセージ

「今後も、人とのつながりを大切に、様々な機会でも、障がい理解や、地域共生社会の実現に向けて発信していきたいです。亀山市内の全部の学校に行ってお話することが私の夢なので、また皆さんと出会うことを楽しみにしています！」

活動紹介

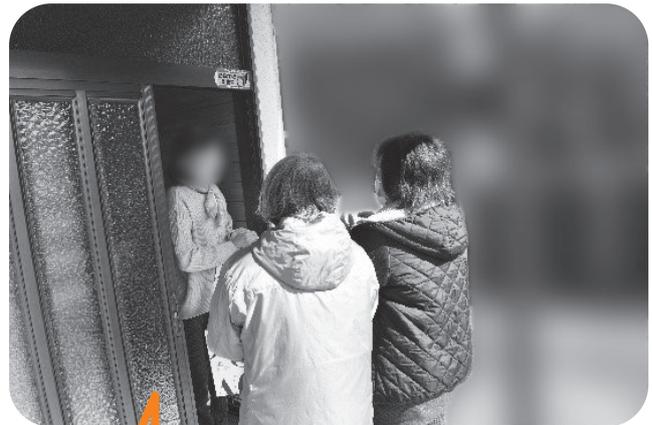


安心見守り訪問事業

毎年12月から3月末にかけて、全22地区まちづくり協議会の福祉委員会では、福祉委員や民生委員・児童委員が中心となり高齢者の孤独化の防止や福祉的なお困りごとに早めに気づくことができるように、75歳以上のひとり暮らしの方(約1,200名)を対象に、安心見守り訪問活動を実施しています。

地域の実情を把握するため、地域包括支援センターや社会福祉協議会の職員と一緒に訪問することもあり、普段から連携した取り組みを行っています。

体調はいかがですか？



毎年来てくれてありがとう

※福祉委員とは「福祉のまちづくり」を進めていく地域福祉の推進役として、332名の方(令和6年度)が見守りや声かけを始め、サロン活動や三世代交流等、地域の方とのつながり作りをしていただいています。

令和6年度高齢者虐待防止研修会

令和7年1月15日(水) オンラインにて市内介護サービス事業所を対象とした「令和6年度高齢者虐待防止研修会」を市内の地域包括支援センターが合同で開催しました。

講師として一般社団法人三重県社会福祉士会高齢者障がい者虐待防止チーム委員の市川光智氏をお招きし、まず高齢者虐待防止法の基本について学び、その後、虐待通報への理解を深めるため事例検討を行いました。

当日は地域包括支援センター職員を含む61名が参加し、当日参加できなかった事業所に対して後日アーカイブ配信を行い、相談・通報について再認識してもらう機会となりました。今後も引き続き研修会を開催するなど高齢者虐待防止につなげられるよう取り組んでいきます。

虐待には5つのタイプがある

- ・身体的虐待
- ・心理的虐待
- ・経済的虐待
- ・放棄・放置(ネグレクト)
- ・性的虐待

→これらが複雑に絡み合っていることが多い。

★「暴力」や「暴言」だけが虐待ではない。

★「暴力」の前には「暴言」があり、「暴言」の前には「言葉の乱れ」がある。



令和7年度助成事業の募集を行います

サロン活動推進助成事業

地域住民、ボランティア等が主体となって高齢者や子育て中の親子等の外出機会の提供及び仲間作りの場であるサロン活動に助成を行います。

- 1 「ふれあい・いきいきサロン」(65歳以上の方及びその支援者が対象)
- 2 「コミュニティサロン」(65歳以上の方を含む地域住民誰もが対象)
- 3 「子育てサロン」(子育て中の親子対象)

【助成要件】

- ・ 5人以上で組織する団体
- ・ 月に1回以上、1回1時間以上の開催
- ・ 原則として個人負担を徴収すること(食事代、材料代など)

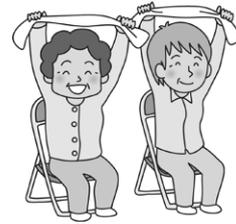
【助成金額】

月額3,000円(年間36,000円以内)

【申請期間】

令和7年4月1日(火)～4月30日(水)まで

※申請期間外の申し込みについては、個別にご相談させていただきます。



共同募金配分金助成事業

社会福祉の向上を目的とする事業並びに地域住民のニーズに基づく地域福祉事業等に要する経費で、公的補填のないものに対して助成を行います。

※ただし、次のものは除きます。

- ①役員会、総会、大会経費及び職員の人件費等、団体の運営に要する経費
- ②2県以上にまたがる地区を対象とした大会や会議に要する経費
- ③他団体から委託を受けた事業の経費補填
- ④その他、社会福祉を目的とする事業と認めがたい事業の経費

【申請期間】

令和7年3月14日(金)～4月15日(火)



福祉ボランティア基金助成事業

ボランティアセンターに登録している、またこれから登録しようとしているボランティア団体を対象に、社会福祉の向上のために行うボランティア活動に要する経費で、公的補填のないものに対して助成を行います。

ボランティアセンターに登録すると、ボランティア基金やボランティア活動保険の助成を受けられる他、ボランティアルーム及びロッカーの使用が可能になります。また市民に活動を紹介することにもつながり、グループのPRになります。

【申請期間】

令和7年3月14日(金)～4月15日(火)

各助成事業の申請書は、窓口またはホームページからダウンロードできます。

申請受付時間は、土日、祝日を除く8時30分から17時15分まで。

令和7年4月1日から

亀山第1・第2地域包括支援センターの 事務所が移転します



地域包括支援センターは、高齢者やその家族、地域の方々の介護の悩みや疑問、生活上の心配ごとなどを総合的に相談できる窓口です。住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らし続けられるように専門職が介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から支援していきます。

電話・来所・訪問など、ご希望の方法で相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。

亀山第1地域包括支援センター
ぼたん

TEL:0595-96-8686
田茂町500番地(あんぜんの丘総合福祉シティ内)

亀山第2地域包括支援センター
もくれん

TEL:0595-97-3331
住山町590番地1(特別養護老人ホーム安全の里内)

※なお、事務所移転に伴う、電話番号・担当区域の変更はありません。

善意の寄付 (令和6年12月3日～令和7年3月5日まで)

鈴鹿農業協同組合様、マックスバリュ亀山店様、古河電工労働組合三重支部青年委員会様、日本ボーイスカウト亀山第4団様、クミ化成株式会社様、白川小学校PTA様、株式会社スズカ様
お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数 (令和7年3月1日現在)

市総人口	49,076人	65歳以上の人口	13,548人(男性6,051人 女性7,497人)
世帯数	22,517世帯	18歳以下の人口	8,314人(男性4,280人 女性4,034人)
		高齢化率	27.6%

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性 (A)
再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
〒519-0164
亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内
☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578
公式HP <https://kameyama-shakyo.or.jp>
facebook <https://facebook.com/kameyama.shakyo>

各WEBサイトに
アクセスできます!

Face
book



ホーム
ページ



You
Tube



鈴鹿 voiceFM (78.3MHz) 出演中!

ラジオ亀山社協だより

放送日:毎月第1火曜日の14:20頃
生放送ラジオ番組「めっちゃすずか!」内